

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	数学Ⅱ C		
科目基礎情報								
科目番号	191012			科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	建設環境工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	2			
開設期	後期			週時間数	4			
教科書/教材								
担当教員	佐藤 文敏,白石 希典,橋本 史雄							
到達目標								
1. 積分法の応用に関する問題を解くことができる。				2. 空間ベクトルに関する問題を解くことができる。				
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	積分法を応用し, 基本的な図形の面積, 体積, 長さ等に関する問題を解くことができる。			積分法を応用し, 基本的な図形の面積, 体積, 長さ等に関する簡単な問題を解くことができる。		積分法を応用し, 基本的な図形の面積, 体積, 長さ等に関する問題を解くことができない。		
評価項目2	空間ベクトルに関する問題を解くことができる。			空間ベクトルに関する簡単な問題を解くことができる。		空間ベクトルに関する問題を解くことができない。		
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 B-1								
教育方法等								
概要	この教科では, 積分法の応用と空間ベクトルについて基礎的な内容を学習する。							
授業の進め方・方法	教科書に沿って基礎事項と例題を解説した後, 各自練習問題等を解くという形式で講義する。適宜, レポート等を課す。							
注意点	予習・復習すること。							
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	数列			等差数列と等比数列の一般項と和を求めることができる。		
		2週	数列			Σ記号の意味を理解し, 公式を使って和を求めることができる。		
		3週	数列の極限			簡単な数列の極限を求めることができる。		
		4週	中間試験・定積分の応用			さまざまな図形の面積を求めることができる。		
		5週	定積分の応用			さまざまな図形の体積を求めることができる。さまざまな曲線の長さを求めることができる。		
		6週	広義積分			さまざまな広義積分を求めることができる。		
		7週	空間ベクトル			空間ベクトルに関する問題を解くことができる。		
	8週	期末試験・試験返却						
	4thQ	9週						
		10週						
		11週						
		12週						
		13週						
		14週						
		15週						
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	